

ぼらちゃん 第20号

ボランティアサロン「じよいなす」参加者募集中です！

じよいなす(joinus)は、はじめの一步を
応援するボランティアサロンです。

- *開催日時
毎月第1水曜日
10:00~11:30
- *会場
喫茶けやき
(上新栄町3-4-83)
- *活動内容
軽作業、交流など

- ・ボランティア活動を通して安心して人との関りを体験できる場所
- ・「ボランティアしたい」という思いを持つ仲間と共に活動する場所
- ・社会参加への第一歩を踏み出す勇気を応援する場所



参加をご希望の方は事前に
西区社協までご連絡ください

報告 「知的障がい・発達障がいの理解とボランティア」 ～みつばちキャラバン隊によるミニ体験～

11/15(火)
@イオン 新潟青山

新潟市障がい者就労支援企業ネットワーク(通称みつばち)から生まれた「みつばちキャラバン隊」は、知的障がい・発達障がいの方々の感覚や気持ちに焦点を当てた疑似体験を提供する出前チームです。講義を聴講するだけでなく、道具なども使って参加者も体験することで、障がい者特性の理解をより一層深める講座を提供しています。



みつばちキャラバン隊 代表 工藤知子さん

「知的障がい・発達障がいの特性は外見上わかりづらいため、誤解をうけやすく、周囲が気づかずに配慮しにくいのが課題。彼らが陥りやすい混沌や緊張、もどかしさをわかりやすく体験します。」と代表の工藤さん。



実際に障がい者雇用をする経営者である立場から、「発達障がいのある方の中には、記憶の引き出しに入れる情報に偏りがある場合があるが、関心のある事にはめっぽう詳しい。曖昧な言葉ではなく具体的でわかりやすい言葉や絵で伝えることで、すごい力を発揮します。初めてのことは時間がかかったり戸惑ったりする場合があるので、せかさずゆっくり待つしてほしいです。

障がいがあってもなくても100人いれば100通り。自分の考えにはめ込もうとせず、その人のわかりやすい表現を考えてほしいです。少数の専門家より多数の理解ある市民の存在が住みやすい・優しい地域をつくると思います。」と講座の中で話されていました。

アンコール
開催決定!

参加者からは、「障がいのあるないにかかわらず、日常の会話にも分かりやすい説明が大事だと感じた。」「温かい気持ちで色々な人に接したい。」などの感想が聞かれました。

- 【開催日】令和5年3月8日(水)
- 【時間】14:00~15:30(先着25名)
- 【場所】内野まちづくりセンター
- 【参加費】無料
- 【申込み】西区社会福祉協議会まで

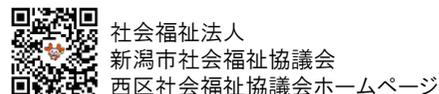
令和5年度 ボランティア活動保険

ボランティア活動中のさまざまな事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償する保険です。令和5年3月1日(水)より社会福祉協議会の窓口で受付いたします。

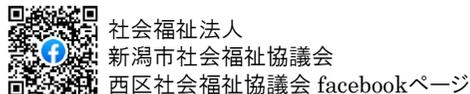
ご加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
年間保険料	350円	500円	550円

- 「基本プラン」では地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- 「基本プラン」「天災・地震補償プラン」では、保険期間の開始日からその日を含めて10日以内に発病した特定感染症に対しては補償されませんが、「特定感染症重点プラン」では、新規加入の場合でも補償開始初日からの補償となります。

※補償内容の詳細については、パンフレット等でご確認ください。



社会福祉法人
新潟市社会福祉協議会
西区社会福祉協議会ホームページ



社会福祉法人
新潟市社会福祉協議会
西区社会福祉協議会 facebookページ

◎ 編集後記 ◎

実はこのサイズの「ぼらちゃん」は今回が最終回になります。次回からは、より見やすいサイズで、より多くの人に見てもらえるような工夫をしていきます。どうぞお楽しみに！これからもよろしくお願いいたします。

◎ 発行 ◎

新潟市西区社会福祉協議会
西区ボランティア・市民活動センター
新潟市西区寺尾東3-14-41
健康センター棟 1階
TEL:025-211-1630 / FAX:025-211-1631

報告

ボランティア講座 「知的障がいの理解とボランティア」 ～知っていますか？スペシャルオリンピックスの楽しさ～ にっぽん

10/18(火)
@イオン新潟青山

スペシャルオリンピックス日本(以下SO)とは、『知的障がいのある方に様々なスポーツの機会(トレーニングや成果発表の場である競技会)を提供する』という使命(ミッション)のもと、知的障がいに対する理解を拓げるため、たくさんのボランティアが関わっています。

講話では、知的障がいの特徴やコミュニケーションのポイントについて紹介。「学校に通っている頃は、学校内で知的・発達障がいのある人と関わる機会があるけれど、社会に出ると出会う機会がグンと減ってしまう。SOでは選手(アスリート)や大会をサポートすることだけでなく、普段から一緒にプレイを楽しむことや応援することもボランティアの活動です。出会うことから理解がはじまります。ぜひ見学にいらしてください。」と、唐津さん、小嶋さんはお話しくさしました。



スペシャルオリンピックス日本・新潟
小嶋さん、唐津さん



報告

ボランティア講座 「視覚障がいの理解とボランティア」 ～見えない、見えにくいってどういうこと？～

1/17(火)
@イオン新潟青山

講師のNPO法人障害者自立支援センターオアシスは、見えにくくなり、日常生活・仕事に不安を抱えている方の自立支援活動を中心に行っている団体です。

オアシスに参加されている清水さんは、40年前に失明されました。希望も張り合いもなくなったと当時は感じておられたそうですが、医師や看護師の言葉に勇気づけられたことや、文字や音を読み取る機器の使用によって、人に頼まずに自分でできる喜びを感じ、気持ちが解放されたことなどをお話しくさしました。



目を閉じて硬貨の種類を確認

「オアシスでは、スマホなどの機器の使い方、調理の仕方、歩行訓練などのリハビリを行っている他に、心のケアとしてコミュニケーションも大切にしています。オアシスの特徴は目の見えにくい方が、習ったことを次の方に教える先生になるところです。オアシスの活動で障がいのある人もひとりでできることが増えます。また、障がいは人ではなく社会の側にあり、社会が優しくなれば障がいは軽くなる、と考えます。」と事務局の小嶋さんがお話しくさしました。



講師の吉井さん、清水さん、小嶋さん

レポート

ボランティア団体紹介 こどもスペースむんぼう

「こどもスペースむんぼう」は、地域におけるこどもたちの育ちの環境をよりよくすることを目指して活動している、大学生を中心とした活動団体です。家庭・学校に次ぐ第3の居場所をつくり、こどもたちがのびのびと安心して育つことのできる地域やより良い社会を創造していきたいと活動されています。



「こどもスペースむんぼう」2つの活動

①教室むんぼうは幅広い年齢のこどもが集まって自由に過ごすことのできるこどもの居場所です。遊び道具も色々あるので、ボードゲームで遊ぶもよし、体を動かして遊ぶもよし！大学生に見守られながら勉強をすることもできます。



②寺尾中央公園で遊ぼう！は屋外での自由な遊び場・交流の場です。ロープ遊びやシャボン玉遊び、鬼ごっこなど、大学生と一緒にあそんだり、こどもたちが思い切り外遊びできる場所です。

『むんぼう』という名前の由来は？

「英語のmoonbow(月虹 げっこう)に由来します。夜開催の居場所ということと、多様性(虹)といういろいろな子がいていいし、お互いが認め合っていけたらいいと思って名づけました。」



代表の星さんにお話を伺いました

『むんぼう』立ち上げのきっかけと目標

「コロナ禍で入学式が始まらず、自分自身も居場所や人とのつながりがないという時期であったことも影響しているとは思いますが、何よりこどもたちにとって多様性を認め合える居心地の良い場を作りたいと思ったことがきっかけです。『むんぼう』を楽しみながらいろいろな人と出会い、時間・空間を共有していくこと。それが、他の誰かの居場所をつくる力にもなって、より良い社会につながっていくのかなとも思っています。どんな場が、いつ誰の、何のためになるのかという事を常に意識しながら、居場所のより良いあり方にこだわっていくことを今後も大切にしていきたいです。」

一緒に遊ぼう！
一緒に勉強しよう！

「『むんぼう』を通じて様々な経験をして鍛えられたと思うし、自分のやりたいことを妥協せずこだわり続けられるようになったと思います。こどもたちも、ボランティアも大募集中です！」



学生スタッフのみなさん

教室むんぼう

会場 十字園 訓練棟
(上新栄町1-2-12)
開催日 金曜日18:30~20:30
対象 小学1年生~高校3年生
参加費 300円

寺尾中央公園で遊ぼう！

会場 寺尾中央公園
開催日 夏季月1回程度
対象 こども・親子
参加費 無料



「こどもスペースむんぼう」で検索！
←お問合せはSNSで！